

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会
第15回 減災対策協議会

日付：令和6年3月15日（金）時間：15:00～16:30

場所：名張産業振興センター アスピア(web 会議併用)

【出席者】

＜木津川上流部大規模・土砂災害に関する減災協議会 構成員＞

（淀川流域治水協議会規約第3条の2に基づく）

津市 津市長<欠席>
名張市 名張市長
伊賀市 伊賀市長（代理）
笠置町 笠置町長
南山城村 南山城村長
宇陀市 宇陀市長（代理）
山添村 山添村長
曾爾村 曾爾村長
御杖村 御杖村長
三重県 水災害対策監
京都府 建設交通部理事（代理）
奈良県 県土マネジメント部河川政策官（代理）
木津川ダム総合管理所長
津地方気象台長
奈良地方気象台長
森林研究・整備機構森林整備センター 近畿北陸整備局長
西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部阪奈支社長（代理）
近畿日本鉄道株式会社 大阪統括部施設部長（代理）
伊賀鉄道株式会社 代表取締役常務鉄道営業部長
淀川ダム統合管理事務所長
木津川上流河川事務所長
紀伊山系砂防事務所長
農林水産省近畿農政局 農村振興部洪水調節機能強化対策官
農林水産省近畿農政局 淀川水系土地改良調査管理事務所長
農林水産省東海農政局 農村振興部 洪水調節機能強化対策官
日本防災士会三重県支部長<欠席>
日本防災士会京都府支部長
日本防災士会奈良県支部長

1. 開会

- ・名張市長より挨拶
 - 今年1月には、能登半島地震が発生した。令和5年度は、河川砂防分野では大きな被害は発生しなかったが、宇陀川の橋が損傷する被害が発生し、自然災害の恐ろしさを痛感している。
 - 本協議会は、令和2年より木津川上流分会として流域治水に取り組んできており、近年の気候変動による影響によって早期に防災・減災に対応しなければならない中で、本日は各機関からの情報を共有しながら議論を進めていきたい。

2. 議事

(1) 減災対策協議会規約、規程の一部改訂について

- 木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会の規約、規程における改訂内容(構成員役職名称変更及び構成員更新漏れ修正)について、事務局から説明を行った。本文に変更はなし。
- 出席者から異議はなく、規約、規程の一部改訂は承認された。

(2) 令和5年度の取組について

- ・各機関から令和5年度の取組事例を報告した。
- ・各機関から出された質問・意見は以下のとおりである。
 - 三重県では、令和5年度に排水ポンプ車1台を購入して東紀州地域に配備しており、令和6年度も1台購入する予定である。災害時には県からのポンプ車の出動も検討しているので、各機関と連携を図っていきたい。(三重県)
 - 立地適正化計画など自治体のまちづくりの計画における防災指針作成にあたっては、土砂災害に関する中長期的な対策についても記載をお願いしたい。予算を確保するうえでは、まちづくりの方向性と土砂災害対策が一致している方が有利。ご不明な点をご相談いただきたい。(紀伊山系砂防事務所)
 - 排水ポンプ車の排水能力を教えてください。他流域で浸水対策として排水ポンプが挙げられているので、どの程度の能力があるのか知りたい。(日本防災士会京都府支部)
→排水能力については手元に資料がないため、後日回答させていただく。(事務局)

(3) 流域治水プロジェクト2.0等について

- ・事務局より流域治水プロジェクト2.0(案)、流域治水の自分事化についての取組案について説明を行った。
- ・各機関から質問・意見なし。

(4) その他共有事項等(水防災意識社会再構築ビジョンの内容を含む)

- ・事務局より流域タイムラインの更新について説明を行った。
- ・各機関から質問・意見なし。

- ・その他共有事項として、木津川ダム総合管理所より来年度室生ダムがダム管理 50 周年を迎えるにあたって、関連イベントを実施予定である旨紹介があった。

3. 閉会

- ・ 木津川上流河川事務所長より挨拶
 - 流域治水の取組も 3 年が経過し、事務所においても特定都市河川やオフィシャルサポーター募集など様々な取り組みをさせていただいている。本ご紹介いただいた事例も含め、3 月 26 日に開催される淀川流域治水協議会でも報告させていただきたいと考えている。
 - 流域治水の自分事化については、自分たちに何ができるかを考えることが重要である。事務所では、来年度以降まるごとまちごとハザードマップの取組も加速化させていただく予定であるので、引き続きご協力を宜しくお願いしたい。

以 上